

広報 ふたば

2014
8月号
災害版No.39



まつと、ふるさと。
双葉町。

町民の皆さんへ

平成26年度の町の重点事業であります「ICTきずな支援システム事業」について、町民の皆さんにお知らせいたします。この事業は、東日本大震災と原発事故により全国各地に分散避難した町民の皆さまの絆を繋ぎとめ、発展させていくための施策として、実施するものであります。

ブレット事前説明会を実施しているところ
であります。

申し込みの概要については左記のとおり
となつておりますので、町民の皆さまには、
ぜひひタブレット型情報端末をご活用いただ
きますようご案内申し上げます。

8月に入り、暑さの厳しい時季となりま
したので、町民の皆さんにおかれましては、
くれぐれも健康に留意され お元気でお過
ごしになられますようお願いいいたします。

タブレット端末の 申し込みについて

双葉町長
伊澤 史朗

- ## ○対象世帯

所において、長男の岩本久人さん
に位記（従五位）と内閣總理大臣
からの勲記、勲章が伊澤史朗町長
から伝達されました。

岩本忠夫さんは、双葉町議会議員
と福島県議会議員をそれぞれ1
期務められたのち、昭和60年12月
に双葉町長選挙に当選、以来5期
20年にわたり双葉町発展のため、
卓越した手腕を發揮されました。

伊澤町長は、「双葉町長として

在任中は『まちづくりはひとづくり』を提唱し、社会教育や学校教育の推進に意を注がれるとともに、町民の健康増進と福祉向上などに大きく貢献されました。岩本町長の意思を受け継ぎ、今後も町の再興に向けて全力でまい進する覚悟です」とあいさつしました。



故・岩本忠夫さんに 従五位 旭日小綬章

アプリケーションを組み込む予定としておりま
す。なお、町民の皆さんの中での操作に慣れ
て苦手意識があり、利用を敬遠しがちな傾向
がある方に対し、充実したサポート体制を構築
し、誰もが安心し継続して利用していくこととしてお
ります。

現在、タブレット型情報端末などの疑問や不安などを解消していただくため、8月11日までの予定で県内外25回にわたり、タ

○配付時期・受取方法

- ・準備が整い次第、順次配付いたします。
(9月～10月に配付予定)
- ・合同配付会または戸別訪問での受け取りをお選びいただけます(日時にては、別途ご連絡いたします)
- ※詳細は、お送りしているタブレット型情報端末申込の手引きをご覧ください。

双葉町ICTきずな支援センター事務局
運営サポートセンター事務局

・ 合同配付会または戸別訪問での受け取りをお選びいただけます（日時につけでは、別途ご連絡いたします）
※ 詳細は、お送りしているタブレット型情報端末申込の手引きをご覧ください。

温かいご支援をありがとうございます



▲6月17日、滋賀県長浜市「福島県双葉町を支援する会（代表 岩根博之様）」より小菊30束をお送りいただきました。



▲6月30日、ネットアンド・プリント代表木藤喜幸様から復興ロゴマークのシール3,000枚をご寄附いただきました。



▲6月30日、大阪市労働組合連合会（執行委員長 上谷高正様）より「ふたばっ子教育支援基金」にご寄附いただきました。



▲7月3日、キャンドルアーティストのキャンドル・ジュンさんがいわき事務所を訪れ、伊澤史朗町長と面談し、双葉町の現状を聞きながら、今後どのような支援ができるかについて懇談をしました。



▲7月10日、全日本法人会総連合様、大同生命保険株式会社様、A I U 保険会社様より町の復興のために役立ててくださいと寄附金をいただきました。



▲7月15日、DINO（ディーノ・パブリッシャーズ）様より人気ロックバンド、LUNA SEA（ルナシー）のギタリストINORAN（イノラン）モデルのギターのチャリティーオークション収益金をご寄附いただきました。

合同現地研修

7月3日、ふくしま、そうま・みなみそうま生活性学級合同現地研修が宮城県亘理町、名取市で開催され、約40人の参加がありました。



<研修先>

- ・亘理町立郷土資料館
- ・国指定有形文化財 名取市洞口家住宅
- ・国指定史跡 名取市雷神山古墳
(前方後円墳)



▲お昼はサッポロビール仙台ビール園で、ジンギスカンや幕の内弁当をいただきました。



▲亘理町立郷土資料館展望台から復興が進む町内を眺望。



▲東日本大震災にも耐えた名取市洞口家住宅を見学。家主の方から説明を受けました。



▲名取市雷神山古墳を散策。



▲ここでお別れ。「またお互いに頑張りましょう」と声をかけ合いました。

避難先周辺地域の歴史・文化を学び町民の皆さんとの絆を一層深めていただくため、郷土文化講座が開催されました。

生活学級(郷土文化講座)

しらかわ、かぎ、せんだい、あいづ、つくばの生活学級現地研修は秋に実施予定です。

7月14日、いわき、みなみだい、こおりやま生活学級合同現地研修が田村郡三春町で開催され約100人の参加がありました。



▲1号車：こおりやま生活学級の皆さん



<研修先>

- ・田村郡三春町 福聚寺
- ・指定重要民俗文化財木型保存
郡山市西田町 デコ屋敷



▲2号車：いわき、みなみだい生活学級の皆さん



▲三春町にある臨済宗妙心寺派福聚寺では、住職で作家の玄侑宗久さんの講話を拝聴しました。



▲3号車：いわき、みなみだい生活学級の皆さん



▲三春の里田園生活館園で昼食



▲三春デコ屋敷を見学



双葉町立小、中学校ではさまざまな体験活動を通して子どもたちの健やかな成長を目指しています。
7月に行われた活動の一部をご紹介いたします。

福祉体験活動

7月1日、福祉施設サポートセンターひだまり（いわき市南台）において、福祉体験活動として双葉中学校の生徒と高齢者の皆さんとの交流会が行われました。

先生を含む8人がひだまりを訪問し、最初に美化清掃のため、窓拭き清掃を行いました。手や膝が汚れるのも気にせずに一生懸命作業を行いました。

清掃が終わると、ひだまりに集まった22人の方々との交流会が行われました。交流会では、初めに生徒と高齢者の皆さんのが自己紹介を行いました。そして、6月、7月生まれの方には生徒から手作りのバースデーカードがプレゼントされました。かわいいカードを受け取った方はとてもうれしそうに何度も眺めていました。

続いて、しりとりやクイズを行い、最後に「海」「たなばたさま」「花は咲く」の3曲をみんなで歌いました。

生徒たちが一生懸命に考えたレクリエーションの数々に参加した皆さんは満面の笑みを浮かべ、楽しいひとときを過ごしました。

7月2日、双葉町立小中学校仮校舎にサッカー日本代表ゴールキーパーの川島永嗣選手が訪問され、子どもたちと交流を深めました。

ブラジルで行われたワールドカップサッカーの試合が終わったばかりの川島選手の訪問に、子どもたちも先生方も間近で見るアスリートの姿に感動し、大喜びでした。川島選手は気軽に子どもたちに声をかけ、質問に答えたり各教室を回りながら、子どもたちとふれあいました。

また、夢を持つことの大切さを子どもたちに話され、川島選手が実際に試合で使用したサッカーシューズ2足が贈られました。子どもたちからは川島選手にエールを送りました。握手やサインにも気軽に応じていただき、夢のような貴重な時間を過ごしました。

川島選手が学校を訪問



たなばた集会



7月7日、七夕の日を迎えた双葉南・北小学校では、「たなばた集会」が開催されました。

集会は6年生の木幡穂清くんの進行で進められ、初めに渡邊由起子北小校長からお話をありました。

次にいわき市内で読み聞かせのボランティアを行っている川名静子さんに「たなばたものがたり」の絵本を胡弓の音楽を流しながら読んでいただきました。子どもたちは真剣な顔で話に聞き入っていました。

続いて、七夕に関するクイズや願い事の発表があり、一人ひとり短冊に書いた願い事を発表しました。子どもたちの発表に先生方もうなずきながら耳を傾けていました。

最後に短冊を笹の葉に結んだ後、それぞれの願い事が叶うように心を込めて「たなばたさま」の歌を全員で合唱しました。



7月8日、双葉南・北小学校の児童が福祉施設サポートセンターひだまり（いわき市南台）を訪問し、高齢者の皆さんと2回目の交流会を行いました。

初めに、全員で南小学校、北小学校の校歌を歌いました。懐かしい校歌を聞き、涙ぐむ人もいました。

続いて、子どもたちは、楽器を演奏しながら、「手のひらを太陽に」「どんぐりさんのおうち」「白熊さんのジェンカ」を歌い、ダンスも披露しました。子どもたちのかわいらしい姿に高齢者の皆さんには大変喜んで、大きな拍手を送っていました。

ジャンケンゲームでは、子どもたちが勝ったら握手、負けたら肩もみというルールで、勝っても負けてもうれしいゲームに皆さんの笑顔があふれました。

子どもたちからの「ふたば音頭を教えてください」との声にひだまりの皆さんの指導でふたば音頭が始まりました。踊る人も見る人もふたば音頭と一緒に楽しんでいました。

サポートセンター ひだまりを訪問



臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の申請に係るお知らせ

臨時福祉給付金または子育て世帯臨時給付金の対象と思われる方へは、下記の案内開始日より順次申請書を発送いたします。

臨時福祉給付金

今年の1月1日時点で本町に住民登録をしている方で、平成26年度の町民税（均等割）が課税されていない方※1。ただし、課税されている方の扶養親族等になっている場合や、生活保護制度の被保護者である場合などは対象外となります。

子育て世帯臨時特例給付金

平成26年1月分の児童手当の受給者で、平成25年分の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方。ただし、臨時福祉給付金の対象となる方や、生活保護制度の被保護者となっている方は対象外となります。

	臨時福祉給付金	子育て世帯臨時特例給付金
支 給 額	1人につき 1万円 ※老齢基礎年金等や児童扶養手当等の受給者は1人につき5千円を加算	子ども 1人につき 1万円
案 内 開 始	平成26年7月30日以降、順次申請書を発送	平成26年8月8日以降、順次申請書を発送
申 請 期 間	申請書受理後～平成26年12月26日(金)	
申 請 方 法	郵送又は持参にて、申請書及び本人確認書類等の添付書類を提出	
申 請 ・ 連絡先	いわき事務所 健康福祉課福祉介護係 ☎ 0246-84-5205 〒974-8212 福島県いわき市東田町2丁目19-4	

※1 町民税の課税・非課税を判定するには、町県民税（住民税）の申告が必要です。収入・所得がない方も申告をしていないと臨時福祉給付金の対象とならない場合がありますので、まだ申告がお済みでない方は、早めに申告を行うようお願いいたします。

【問い合わせ先】健康福祉課 福祉介護係 ☎ 0246-84-5205



未来ある子どもたちを見守るために 夏休みを利用して小児健診の受診を（県民健康調査）

平成26年度県民健康調査「小児健診」が始まりました。この健診は、長引く避難生活や放射線への不安などが健康に様々な影響を及ぼすことが懸念されることから、疾患の早期発見、早期治療のために行っているものです。

実施期間は7月から12月までですが、秋以降はインフルエンザの予防接種などで医療機関が大変混み合います。夏休みをご利用いただき、早めの受診をお勧めします。

○対象者となる方

福島県内の平成23年時に指定避難区域等の住民で平成11年4月2日～平成26年4月1日までに生まれた方（0歳～6歳及び小学校1年生から中学校3年生まで）

○実施期間…平成26年7月～12月

(12月は混雑が予想されますので早めの受診をお勧めします)

○費用…無 料

○必要書類

平成26年度版「小児健康診査受診録兼結果報告書」及び「承諾書」

※詳しくは、対象の方にお送りしている「小児健康診査」に関するお知らせをご覧ください。

※双葉町から県外へ避難されている方については7月15日（小児）、7月29日（成人）に案内を発送し、県外医療機関を別途ご案内しています。

問い合わせ先

福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター
☎ 024-549-5130

新山行政区慰労会のお知らせ

新山行政区長 富澤 信一

新山行政区慰労会を下記により開催いたしますので、ご家族でご参加ください。

記

○日 時 9月27日(土)～28日(日) 1泊2日

- ・町政報告会…午後1時～1時45分
- ・講演会…午後2時～3時30分
講 師 昇 幹夫先生
「日本笑い学会」副会長・医師
演 題 「元気で長生き、P P Kのこつ!
笑いは心と脳の処方せん」
- ・慰労会（懇親会）…午後5時30分～午後8時

○場 所 ホテルリストル猪苗代

☎ 0242-66-2233

郡山駅西口より送迎バスあり

○会 費 大人…5,000円、子ども…3,000円

○申込締切 8月25日(月)

※交通費を距離算定により補助いたします。(ただし、一人当たり上限10,000円といたします)

※参加される方は下記までご連絡ください。申し込み書類等をお送りいたします。

【連絡先】庶務会計 富澤 政仁 ☎ 090-9348-2271
FAX 0246-38-9928
富澤 信一 ☎ 090-4887-5736
五十嵐一雄 ☎ 024-573-4560
澤上 敬 ☎ 090-8257-1246

税務署からのお知らせ

期限延長地域(※)の申告手続き等の期限は平成27年3月31日となっております。

期限間近になりますと税務署等の窓口が大変混み合いますので、就労不能損害や営業損害等に係る賠償金の申告をされる方はお早目に手続きをお願いいたします。

なお、避難指示区域内に住居を有していた方は、家財に対する雑損控除を受けることができる場合がありますので、詳しくは相馬税務署または、最寄りの税務署に電話でお問い合わせください。

税務署では予約による申告相談を行っています。

※田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

【問い合わせ先】 相馬税務署

☎ 0244-36-3111

※自動音声に従って「0」番を選択してください。

浜野行政区からのお知らせ

浜野行政区長 菅本 洋

大字総会・交流会を下記のとおり開催いたしますので、ご参加ください。

記

○日 時 9月13日(土)～14日(日) 1泊2日

- 総 会…午後3時～
- 交流会…午後6時～

○場 所 太平洋健康センター勿来温泉閣の湯
いわき市勿来関田須賀1-4

☎ 0246-65-1126

○参加費 大 人 (泊) …11,000円
交流会(食事) 参加…7,500円
会議のみ出席可能です。

○申込締切 8月25日(月)

※会費は当日お願いいたします。

※交通費を支給しますので、会場までの往復の距離を記録しておいでください。

※参加される方は、準備の都合上、下記まで早目の連絡をお願いいたします。

【申し込み先】 区 長 菅本 洋

☎ 080-1655-8858
副区長 荒木 茂
☎ 090-4317-6063

個人事業税の課税時期の 変更について

福島県では、例年、8月に個人事業税の納税通知書をお送りしていますが、原則として双葉町に住所を有する方への今年度の納税通知書は、所得税の申告期限延長措置終了に伴い、12月12日にお送りする予定です。

納期限は、第1期分が平成27年1月5日、第2期分が平成27年3月31日となります。

また、複数年分の所得を申告された方には、申告年数分の納税証明書をお送りいたします。

減免制度など、詳しくは県税部までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

相双地方振興局 県税部 課税第一チーム
☎ 0244-26-1126

平成26年度 双葉町総合健診・がん検診 意向調査の実施について

◎福島県内に避難している場合

7月に健診対象者の方に、意向調査票をお送りしました。まだお手元にある方は、早めに提出してください。

◎福島県外に避難している場合

健診委託機関（結核予防会）より、案内が送付されますので、コールセンターに申込みをして受診してください。

※7月以降に県内⇒県外へ避難先を移動された方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

健康福祉課 健康づくり係
☎ 0246-84-5205



借り上げ住宅の退去手続きについて

借り上げ住宅の入居者が借り上げ住宅を退去される場合は、「仮設住宅等使用終了届」を原則退去日の1カ月前までに、町へ提出していただく必要があります。

この「仮設住宅等使用終了届」が提出されていないために、実際に入居者が退去されているにもかかわらず、解約手続きが完了していない事案が県内で発生しています。

つきましては、適正な借り上げ住宅の管理のため、退去される前には必ず「仮設住宅等使用終了届」を提出いただきますようお願いいたします。

なお、退去時に入居者の故意または過失による損壊が退去修繕負担金で充当できない場合は、充当できない分の費用に関しては、入居者の負担となります。

【問い合わせ先】 住民生活課

☎ 0246-84-5204

平成27年度 双葉地方広域市町村圏組合職員採用候補者試験

—私たちと共に、ふるさと双葉を守りましょう—

1. 試験職種、採用予定人員及び職務内容

試験職種	採用予定人員	職務 内 容
消防	11人程度	消防業務に従事します

2. 受験資格

区分	受 験 資 格
消防	<p>昭和60年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方で、自動車運転免許（普通自動車以上「A T限定免許を除く」）取得予定者の方。（学歴は問いません）</p> <p>◎身体の基準は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胸囲…身長の概ね2分の1以上であること。 ・視力…両眼とも矯正視力が0.7以上であること。 ・聴力…正常であること。 ・その他…精神及び身体に障害がないこと。 結核性疾患、その他感染症疾患がないこと。

3. 試験の期日及び場所

区分	期 日	時 間	試験場
第1次 試験	平成26年 9月21日 (日)	9:00~10:00 受付 10:00~12:00 教養試験 12:10~12:35 適性検査	杉妻会館 福島市杉妻町 3-45

4. 受付締切

8月15日(金)

※その他、採用候補者試験に関する詳細については、当組合ホームページ試験公告をご覧いただくか、下記問い合わせ先までお電話ください。

【問い合わせ先】 双葉地方広域市町村圏組合
事務局 総務課 ☎ 0240-27-4665
消防本部 総務課 ☎ 0240-25-8523

消防署からのお知らせ

ルールを守って楽しい花火遊び

夏の風物詩である花火も、原料は火薬であることを忘れてはいけません。間違った使い方をすれば、火事や思わぬ事故につながります。花火で遊ぶ時は使用方法、マナーを守りましょう！

「花火遊びは迷惑にならない場所と時間と後始末！」

【問い合わせ先】

浪江消防署 ☎ 0240-38-2119
富岡消防署 ☎ 0240-25-2119



—花火をするときは—

- ・風の強い日は、花火遊びはやめましょう。
- ・花火を人や家に向けたり、燃えやすい物の近くでは遊んだりしないようにしましょう。
- ・水の入ったバケツを準備しましょう。
- ・子どもだけでなく大人と一緒に遊びましょう。

—花火が終わったら—

- ・完全に消火し、燃えかすなどのゴミは持ち帰りましょう。

内部被ばく検査の結果について

町では、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により大気中に放出された放射性物質による町民の皆さまの健康への影響を注意深く見守りながら、長期的な健康管理を行うことを目的として、以下の内部被ばく検査を実施しています。平成25年度の検査結果について報告いたします。

1. ホールボディカウンタ(WBC)による内部被ばく検査(対象者:全町民)

検査の実施: 436人

【内訳】いわき事務所 (191人) 埼玉支所 (68人)
ひらた中央病院 (177人)

セシウム134および137が検出された方が14人いました。

預託実効線量*は全員が1mSv未満であり、検出限界値を下回った方は全体の96.1%となっています。なお、検出された方の多くが一時帰宅後でした。一時帰宅の際には放射性物質の吸入の可能性がありますので、注意してください。今年度もいわき事務所、埼玉支所で随時申し込みを受け付けています。

また、町の検査とは別に福島県内では県が所有する車載型WBC検査を県内4カ所の仮設集会所で実施し、380人が受検しました(平成26年2月～3月)。南相馬市立総合病院で31人が受検しました(平成25年11月～12月)。

今年度も県の車載型による検査を予定していますので、日程が決まりましたら、お知らせいたします。

*預託実効線量は、体内に取り込まれた放射性物質から将来にわたって受け続ける被ばく線量を推計した数値で、これにより健康への影響の可能性を推計しています。年間1mSv未満が、一般的に健康に影響がないとされている基準です。

2. 尿による内部被ばく検査(対象者:全町民)

検査の実施: 338人

検査を実施した検体の平均尿中放射性セシウムは0.169Bq/kgで、平成24年度の結果(0.405Bq/kg)と比較して減少しているものの、その減少率から飲食物等による日常的な摂取が予想されます。

預託実効線量*の最大値は0.063mSvであり、基準となる1mSvを大きく下回っていました。結果から年齢や避難先ごとの特徴は見受けられませんでした。

今月の広報に今年度の尿検査のご案内を同封しました。検査実施は9月～12月です。尿検査では、より微細な量を検出することができるため、ホールボディカウンタ検査で放射性物質が検出されなくても、尿検査では検出されることがあります。ぜひお申込みください。

一時帰宅などにより、放射性物質の体内への摂取・蓄積による内部被ばくが予想されますので、一人ひとりが注意して生活していただく必要があります。町では、これらの検査を継続して実施いたしますので、定期的な受検をおすすめいたします。

甲状腺検査(対象者:原発事故当時39歳以下の方)

検査の実施: 356人

結果は下の表のとおりです。平成24年度から2年連続で受検した方は、218人(41%)でした。

今年度の甲状腺検査については、7月下旬に甲状腺検査の受診券を対象の方にお送りしましたが、まだ届いていない方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

	人数	A1	A2	B	C
総 数	356	143 (40.2)	190 (53.4)	23 (6.4)	—
0～18歳	214	78 (36.4)	131 (61.2)	5 (2.4)	—
19～39歳	142	65 (45.8)	59 (41.5)	18 (12.7)	—

*事故当時の年齢です。下段カッコ内は%を示しています。

※甲状腺検査判定基準

- A1…結節や嚢胞を認めなかったもの
- A2…5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞を認めたもの
- B……5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞を認めたもの
- C……甲状腺の状態等から判断して直ちに二次検査を要するもの

第3回 細谷の集い・交流会

ふるさとの良さをかみしめて

6月14日、15日の一泊二日の日程で第3回

細谷の集い並びに交流会が二本松市岳温泉で開催されました。避難先から18世帯32人の方々が集まり、昨年のSPA・リゾートハワイアンズでの総会以来の再会を懐かしんでいました。

遠藤義政さんの司会により進められ、総会は館林稔さんの司会により進められ、大橋庸一区長から長期にわたる避難生活に対する労いの言葉と「3年3ヶ月が過ぎてもまだまだ先の見通しも不透明であり、さらには中間貯蔵施設の問題について、国の具体的な施策と方針を慎重に見極めなければ是非の判断は難しい」とのあいさつがありました。

また、羽山君子町議会議員の町政報告と伊澤史朗町長からのメッセージが披露され、双葉町の現況と当面の取り組みについて知ることができ、町政に対する理解を深めることができました。

議事では、細谷地区会計の現況報告や羽山神社の除草や自主防災会の機材の扱いなどについて協議が行われました。

さらに、細谷地区出身のフラガール、「モアナ梨江後援会」活動について引き続き支援していくことが承認されました。

亡くなられた方々へ黙とうをささげた後、思い出話や近況報告、これからの生活などについて会話を弾み、夜遅くまで交流が続きました。

翌朝は、緑が一段と映える安達太良山を背にしながら、再会を約束して避難先へと向かいました。



※大橋庸一区長より写真
記事のご提供をいただきました。

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内6カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、(農産物・土壤モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

8月の日程は右記のとおりです。

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます(携帯電話のパケット料金にはご注意ください)※時間:午前10時~正午

8月1日(金)	楢葉町役場いわき出張所 (いわき明星大学 大学会館2階)
8月7日(木)	葛尾村役場三春出張所 (三春貝山多目的運動公園)
8月8日(金)	富田町仮設住宅 (郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所)
8月21日(木)	双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町地内)
8月22日(金)	浪江町役場二本松事務所 (二本松市平石高田第二工業団地)
8月29日(金)	大熊町役場会津若松出張所 産業建設課内

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0240-23-6474
FAX 0240-27-4747

いわき・まごころ双葉会・6月例会・

平成26年度 婦人部総会

さらに、いわき中央警察署の橋雅之生活安全課生活安全係主任から新手のオレオレ・なりすまし詐欺の被害に遭わないための基本についてビデオ映像を交えて、詳しく話を聞きました。

続いて、双葉警察署員の松田俊祐巡查から双葉方面の現況についての説明の中で「イノシシによる交通死亡事故」等があつたので、一時帰宅する際には十分な注意が必要ですとの話がありました。



6月28日、いわき市立中央台公民館において、会員65人が参加して、いわき・まごころ双葉会6月例会が開催されました。

第1部は、「自分を守る」をテーマに、いわき中央警察署の大和田孝交通課一課第一係長がいわき中央署管内の平成25年度の交通白書の内容を説明し、朝夕の一定時間帯に事故が多発する傾向があることや道路交通法の一部が改正されたことなどをわかりやすく説明しました。

※大橋庸一事務局長より記事のご提供をいただきました。

8月の予定

- ・6～8日：平七夕祭り参加
- ・16日：南台仮設住宅盆踊り協賛

(屋台出店)

6月26日、いわき市立公民館で52人が参加していわき・まごころ双葉会平成26年度婦人部総会が開催されました。

最初に岩川ヨシ子婦人部長のあいさつがあり、続いて木幡智清いわき・まごころ双葉会副会長が祝辞を述べられました。

総会では、平成25年度活動及び会計報告、平成26年度活動計画（案）及び会計予算（案）等について審議し、原案通り承認決議されました。役員改選では、現行役員が再選され、総会を終了しました。

続いて、会員全員で昔懐かしい柏餅を岩川部長の指導で作りました。柏餅が蒸し上がると部屋中にいい香りが漂いました。できたての柏餅をみんなで味わいながら、避難生活の状況や避難前の思い出話などを語らいました。久しぶりに会話が弾み、会員同士の交流がさらに深まりました。

※岩川ヨシ子婦人部長より、記事のご提供をいただきました。



双葉梅檀広場（埼玉県加須市）でマグロの解体ショー

加須市騎西にある交流施設「双葉梅檀広場（NPO法人タイクハート幾田慎一代表理事）」の駐車場で6月21日、マグロの解体ショーが行われました。

解体ショーは埼玉と東京の避難者支援団体工ネチエン大作戦（吉本陽子代表）の企画で開催されました。

重量50キロ以上のインドマグロ2本が大勢の皆さんに見守る中、包丁一本で豪快に解体されていきました。解体されたマグロの一部は刺身やフライなどにして参加した町民の皆さんに振舞われました。参加した皆さん、新鮮でおいしい刺身を、ふるさと双葉町に思いを馳せながら支援に感謝しながらいただいていました。



ひまわり婦人学級（白河市）清掃活動

6月23日、ひまわり婦人学級（釣野紀美枝学級長）では、日ごろお世話になっている白河市に感謝を込めて、白河市内をきれいにしようと早朝午前6時から7時まで清掃活動を行いました。

参加したのはひまわり婦人学級の皆さんを中心、その家族や友人、男女20人が集まり、白河駅、図書館周辺のゴミ拾いを行いました。約1時間の作業でタバコの吸い殻や空き缶、空きビン、紙屑、ペットボトルなど予想以上のゴミが集まりました。



※加須市市民カメラマン和田文雄様より写真のご提供をいただきました。

※鎌林孝男白河市借上げ住宅自治会長より、写真記事のご提供をいただきました。

集めたゴミは、白河図書館駐車場に持ち寄り、参加者全員で分別作業を行いました。ゴミ袋20袋にまとめで白河郭内仮設住宅ゴミ収集場に運び、作業を終えました。

参加した皆さんは、心地よい汗をかき、これからも避難先の白河市のために自分たちのできることをやっていくことを誓いました。



一健康生活のススメー 夏の健康管理

夏は、気温の上昇とともに体温が上がり、湿度も高いため食欲が落ちたり、だるさを感じる方も多いです。

汗をかくことなどにより水分やミネラルが大量に失われ、体温調節機能がうまく働くことで、体温が急上昇してしまう状態が熱中症です。高齢者や子ども、病弱な方はかかりやすいので、水分補給とともに、きちんと食事を摂ることが大事です。食事は、体の抵抗力をつける栄養だけでなく、水分の補給源としても重要です。

また、冷房による冷えや水分の摂り過ぎで、むくみを感じる方もいます。むくみには、適度な酸味と苦味、アミノ酸のうまみ成分を含む夏野菜がおすすめです。トマト、きゅうり、なす、ピーマンやゴーヤなどの夏野菜には、水分調節にかかるミネラルも豊富に含まれています。

食事では、毎日適量のたんぱく質（肉魚卵など）と、疲労回復に効果のあるビタミンB1（豚肉や大豆に多く含まれます）も意識して摂りましょう。

熱中症予防には、汗をかくことによって失われる水分と塩分を補給するようにと言われます。激しい運動や肉体労働などで大量に汗をかいた場合はスポーツドリンクで補います。スポーツドリンクには、塩分やミネラルが適量含まれています。通常の生活程度の発汗なら水分のみでよいでしょう。

日本人の食生活はまだまだ塩分を摂りすぎています。夏でも減塩を心がけてください。

減塩には、しょうが、みょうがや大葉等の香味野菜で、季節感を感じながら取り組みましょう。

かんたんサラダレシピ

○なすのサラダ【2食分】



<材 料>

- ・なす…3本
- ・サラダ油…大さじ1
- ・ポン酢…大さじ1
- ・しょうが…1かけ
- ・大葉…5枚

<準備>なすは一口大の乱切りにし、サラダ油をからめる。しょうがはせん切り。大葉は手で細かくちぎるかせん切り。

<作り方>

- ①耐熱皿になすをのせ、電子レンジで加熱(600Wなら3分くらい)する。キッチンペーパーなどで水気を軽くふき取る。
- ②器に盛って、ポン酢をかけしょうが・大葉をのせる。
※多めに作って、残りは冷やしておきましょう。さっぱりとしてたくさん食べられます。
- ※1食分の塩分は0.8gです。ポン酢をかけすぎないよう注意しましょう。

○やまいも、オクラ、モロヘイヤ、もずく、昆布、わかめ(めかぶ)、納豆などのネバネバ・ヌルヌル成分は、水溶性食物繊維です。

○ムチン、アルギン酸(わかめ・昆布)、フコイダン(もずく)などがあります。どれも健康に良い働きをすることがわかっています。

かんたん夏ごはんレシピ

○ネバネバごはん【1食分】



<材 料>

- ・ごはん…1膳
- ・やまいも…100g
- ・オクラ…2本
- ・めかぶ…25g
- ・明太子…1/2腹

- ・めんつゆ(ストレートタイプ)…大さじ1/2
- ・ごま油…大さじ1/2
- ・しょうゆ…小さじ1/2
- ・ごはん…1膳
- ・こしょう 少々

<準備>オクラは塩を振ってもみ、ラップに包んで電子レンジで40~50秒加熱する。

<作り方>

- ①オクラは斜め薄切りにする。明太子は切れ目を入れて中を出す。
 - ②やまいもは皮をむいてビニール袋に入れ、麺棒などでたたきつぶす。その他の材料とめんつゆを加えて混ぜる。
 - ③ごはんの上に②をかける。
- ※ビニール袋の中であれば、洗い物もほとんどなく簡単です。

○ゴーヤのサラダ

<材 料>

- ゴーヤ…1本 塩…小さじ1/2
- 梅干し…小1個
- しょうゆ…小さじ1/2
- オリーブ油…小さじ1

<準備>梅干しは種を除いてきざんでおく。ゴーヤは縦半分に切って、わたと種を除き、うす切りにし、分量の塩を振っておく。

<作り方>

- ①ゴーヤがしんなりしたら洗い、軽く水気をしぼり、耐熱容器に入れて電子レンジで加熱(600Wで2分)する。水気を切る。
 - ②梅干し、調味料を加えて混ぜる。
- ※ゴーヤの苦味が苦手な方は、ズッキーニで作ってみてください。

ダブルリーフ マリッジプロジェクト (D .L .M.P) 双葉町後継者結婚対策協議会がこのたび活動を再開しました。

ファーストデート



～ふるさとを忘れない友達づくり 恋人づくりを応援します～

9月27日(土) 16:00start

○ところ…ホテル アクセス

いわき市植田町中央三丁目12-16

☎ 0246-63-7611

募集定員
男性 25名
女性 25名

※定員になり次第、受付を終了させていただきます。

対象者
○双葉町出身の方
○双葉町民の方
○独身の方

9月1日(月)締切

○参加費 3,500円

○交通費 自己負担となります。

○申し込み 双葉町教育委員会宛て
(kyouiku@town.futaba.fukushima.jp)
にメールにてお申込みください。その
際、件名を「ファーストデート」とし、
内容に必要事項（氏名、生年月日、現
住所、電話番号、メールアドレス）を
ご入力ください。

主催：双葉町後継者結婚対策協議会

双葉中学校（平成元年3月）卒業生の皆さまへ
(昭和48年4月～昭和49年3月生まれ)

同窓会のお知らせ

■日 時 平成26年10月18日(土) 午後2時～

■場 所 スパ・リゾートハワイアンズ

いわき市常磐藤原町蕨平50

☎ 024-43-3191(代表)

■会 費 7,000円 9月30日までに下記の口座にお振込
みください。

■その他 振り込み手数料は各自ご負担下さい。

・下記連絡先あてに氏名、連絡先、現住所、出欠の有無、宿泊の有無をお知らせください。
【連絡先】橋本 靖治 ☎ 090-1379-6886
高橋 春枝 ☎ 090-8928-0413
(Email:s63futaba.jhs@gmail.com)

- ・部屋割りをお任せしていただける方のみ宿泊の受け付けをします。(和室4部屋、シングル4部屋)
- 1泊朝食付き7,710円
- ・会費納入先：東邦銀行 双葉支店 ☎ 235963
名義：昭和63年度双中卒業生 代表 橋本靖治
(ショウウワ63ネンドフタチユウソツギヨウセイ)
- ※会費納入の確認ができる方に10月初旬を目安にスパ・リゾートハワイアンズの入場券と詳しい日程表を郵送します。
- ・平成元年3月双葉中卒業生のいるご家族の方は、同窓会の件をお伝えいただけると幸いです。
- 申込締切 9月20日(土)

学生の皆さんへ

ふくしま大卒等合同就職面接会を開催します。

平成27年3月新規大学等を卒業予定の方、平成24年3月以降に卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。ぜひご参加ください。

○8月8日(金) コラッセふくしま

～ハローワーク福島・二本松・相双管内の企業を中心に40社が参加予定～

- ・主催…福島新卒応援ハローワーク、厚生労働省福島労働局、福島県

【問い合わせ先】

福島新卒応援ハローワーク
☎ 024-529-7649

○8月20日(水) ビックパレットふくしま

～ハローワーク郡山・須賀川・白河・平・会津若松・相双管内の企業を中心に100社が参加予定～

- ・主催…郡山新卒応援ハローワーク、厚生労働省福島労働局、福島県

【問い合わせ先】

郡山新卒応援ハローワーク
☎ 024-927-4633

※事前申し込みは不要です。お気軽に越しください。

生涯学習で自分みかき・仲間づくり

教育総務課生涯学習係事業開催のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
					1 ○たんぽぽ 学級 (郡山市) 民謡教室 せんだん広場 13:30~	2 集まれ! ふたばっ子 2014 スパリゾート ハワイアンズ 10:00~
3 ○ひまわり 婦人学級 (白河市) 白河関まつり 白河駅前 14:00~16:00 第67回福島県 総合体育大会 県民スポーツ 相双地域大会 相馬市長友 グラウンド	4	5 ○梅檀婦人 学級 (福島市) 昼食会 レストラン 風の谷 11:00~ ○すみれ 婦人学級 (いわき市南台) 盆踊りの練習 南台応急仮設 第3集会所 9:00~	6 △かぞ生活 学級 (加須市) フォークダンス 社会福祉協議会 加須事務所 10:30~12:00 ☆つくば 生活学級 (つくば市) 飛び出すカード つくばサイエンス インフォメーション センター 13:30~15:00	7 ☆こおりやま 生活学級 (郡山市) 陶芸 せんだん広場 10:00~11:30	8	9
10 双葉町壮年ソフトボールチーム が参加します。	11	12 京都府京丹波町 双葉町子ども 交流事業 (植田小学校 体育館) 9:45~13:10	13	14	15	16 ○桜婦人学級 (いわき市) 盆踊り 南台応急仮設住宅 ○さくら生活学級 (つくば市) 夏祭り盆踊り つくば連絡所
17	18	19	20	21 ○しらゆり 婦人学級 (南相馬市) 暑気払い	22 ○ふたば婦人学級 (会津若松市) パッチワーク (第1回)	23 ○はなみずき 婦人学級 (加須市) 盆踊り
24	25	26 ☆ふくしま 生活学級 (福島市) ストラップ作り アオウゼ 視聴覚室 10:30~12:00 ○ひめ萩 婦人学級 (宮城県仙台市) とんぼ玉教室 10:00	27	28	29 ○ふたば婦人学級 (会津若松市) パッチワーク (第2回)	30
31						

《お申込みについて》
各学級に参加ご希望の方は
生涯学習係までご連絡下さい。



～社会福祉協議会サロンのお知らせ～

平成26年度も福島県内外において社会福祉協議会サロンを開催しています。

双葉町民の交流や情報共有及び心身のリフレッシュを兼ねて、日常生活の糧へと繋がるような楽しい時間を一緒に過ごしましょう。



8月開催予定日

開催場所	住所・連絡先	開催月日	時 間
白河市 郭内第二応急仮設住宅D2-4	白河市郭内151-29 ☎080-6290-5930(担当:開発)	毎週水・金	9:30~11:30 13:30~15:00
いわき市草野公民館	いわき市平泉崎字向原28 ☎0246-34-2036	8月19日(火)	10:30~14:30
安積総合学習センター	郡山市安積町荒井字南赤坂265 ☎024-945-6466	8月22日(金)	10:30~14:30
せんだん広場『絆カフェ』	郡山市御前南2丁目73 ☎024-983-1861	8月25日(月)	14:00~15:30
郡山市富田町応急仮設住宅集会所	郡山市富田町字町15 ☎024-983-9420	8月25日(月)	10:00~11:30
郡山市 喜久田町早稲原応急仮設住宅 集会所	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 ☎024-983-9590	8月5日(火)	10:00~11:30
白河市 郭内第二応急仮設住宅集会所	白河市郭内151-29 ☎0248-27-2324	8月5日(火)	10:00~11:30
福島市さくら応急仮設住宅談話室	福島市さくら1丁目10-1 ☎024-593-6511	8月21日(木)	10:00~11:30
福島市 北幹線第二応急仮設住宅集会所	福島市飯坂町平野内小田原8-1 ☎024-573-2598	8月21日(木)	13:30~15:00
いわき市勿来市民会館	いわき市錦町上田川21 ☎0246-62-3145	9月2日(火)	10:30~14:30
会津若松市役所老人福祉センター	会津若松市城町14-52 ☎0242-26-666	9月8日(月)	10:30~14:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291【担当:泉田】





双葉の風たより

全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りの一部をご紹介いたします

故郷への思い

「ふるさとは遠くにありて思うもの」

百年も前に石川啄木は「ふるさと渋民村」への思いをこのように述べております。

そしてその時の感情を

「石をもて

追われるごとくふるさとを

いでし悲しみ消ゆるときなし」

と、意に反してふるさとを離れるを得ない立場になつた悲しみを短歌にしたためておりました。

まさかその思いと悲しみを、我々が避難民として体験することなど、想像すらできませんで現実となりました。しかしその思いには相通するものがあるようを感じる今日この頃でございます。

お陰様で私たち一家もいわき市への移住ができました。一日も早くご先祖様にご報告に参りたいと考えております。今はただ引越しの日が待ち遠しい気持ちでいっぱいです。

須賀川市にて

吉田 仁（浜野）



仙台市 菊池 敏子（石巻出身）

いくつになつても毎年七月の月は忘れることはできません。あの日の自分の姿を思い出し想いにふけております。当日の役付肩章も大事にして毎年七月には虫干しをしております。

武内 恒雄（長塚二）

祖父の手で作りし鎧身に付けて勇む孫等も野馬追の子か吾れ出陣祝のお神酒を受けし手で一鞭当てて「参れ 参れ」と

七月の思い出

四年目の避難に耐えておくげ花荒れたる庭に楚々として咲く梅古木避難の風雨に耐え切れず花も実も失せ庭石を枕に上がるうか上がるまいかと迷いつゝ瞼ぬらして土足見つめる

一時帰宅

ぽかぽかおひさま いっぱい浴びて
まんまるだった みんなの心
おつきなまんまる
ちっちゃんまんまる
いつでも元気に弾ん(はずん)でた
まんまるだった みんなの心が
あの日から
とがったり へこんだり 誰のせい
しぶんだり ゆがんだり 誰のせい
みんなの心が いつの日か
ほほえみいっぱい ふくらむ日まで
元気いっぱい ふくらむ日まで
踏んばれ がんばれ
みんなの心

真奈美（熊川多恵子・両竹）著
詩集「ぼくらのゆくえ」より

人のうごき6月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
赤石澤唯月	5月25日	幸也・涼子	長塚二
島田和玖	6月6日	敏英・幸恵	新山
遠藤南美	6月20日	茂樹・美由紀	新山

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
井上 昭一	72歳	5月30日	長塚二
小西 浩	74歳	6月14日	両竹
篠原 ヨシ	90歳	6月21日	長塚一

双葉町民の避難状況

(平成26年7月1日現在)

- 福島県内に避難されている方 4,038人
- 福島県外に避難されている方 3,003人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の記事を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

☎ 0246-84-5202

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんのが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんのが声をお聞きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まるこことを期待いたします。

記録として次の世代へ きずな ふるさと絆通信 第15号



「ふるさと絆通信」あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

【問い合わせ先】秘書広報課
☎ 0246-84-5202



ずっと、ふるさと。双葉町。

さいとう そういち
齊藤 宗一さん
 (郡山)



●避難先●
 茨城県北茨城市



私は22歳の時、双葉町農協（当時、現・JAふたば）に職員として入組しました。當農経済部門を多く経験した後、浪江農協（当時）との合併や不良債権処理、民事訴訟、常磐道延伸関連業務などを担当し、忙しい日々を送っていましたが、ある時、近隣にある後継者が居ない農家の当主が亡くなり、農地を買わないかとの話が持ち込まれました。入組以来、誠心誠意働いてきましたが、組織の人間関係などに疲れを感じていたこともあり、家族の反対を押し切つて退職し、その農地を借り受けました。

そして、気候を生かしてほうれん草の栽培を始めました。先輩方の指導もあり、試行錯誤の末、品評会で県知事賞を受賞したり、東京都内で開催された物産展に出品したり、県内の有名スーパーが優先して仕入れて下さったり、大手流通グループの社長が視察に来るなど、「双葉のおいしいほうれん草」として広くご愛顧いただけるようになりました。震災発生の当日まで、家族によつて出荷を続けていました。しかし、原発事故により、私で六百年16代続いた齊藤家は、その全てを失つてしまいました。

私は、平成23年2月、がんの宣告を受けました。複数の治療法が示されましたが、担当看護師の「20年後、大人になつた孫の姿を見たくないのか」という言葉に、罹患部全摘手術を決断し、同年3月9日、南相馬市立病院で手術を受け、術後のリハビリのために歩行訓練をしていました。大地震に遭遇しました。

その後、当町にとつて県内唯一の避難所となつたホテルリステル猪苗代、南台仮設住宅を経て、現在、北茨城市内で妻や母とともに生活しています。被災前まで同居していた長男夫婦と孫は、仕事の都合で南相馬市に移りました。

私は、被災以前から原発隣接地区の住民として、地震・津波対策、避難道路の設置など、安全確保について積極的に申し入れを行つてきました。しかし、毎回、東電側から「そんなことはあり得ない」と豪語する返事しか得られませんでした。そうした中での今回の原発事故です。私たちが申し入れ続けてきた懸念事項が「重大な人災」という現実になりました。事故後、全てを失つた被害者である私たちに対応を続けています。故郷を返してほしい、「何を信じれば…」が正直な気持ちです。

病院からは、大津波の襲来する様子が見え、原発事故の発生を感じました。病院がある南相馬市原町区は停電や断水もなく、津波被災を除けば平穏に感じられましたが、翌12日、他の医療機関への紹介も無く、病院からの退去を告げられました。その後、長男の妻と携帯電話が繋がり、迎えに来てもらうことができました。幸い、次女が東京都内の病院に看護師として勤務していたため、同17日から入院することになりましたが、その前日早朝、縫合部が開き、予定より早く入院しました。

私は、被災以前から原発隣接地区の住民として、地震・津波対策、避難道路の設置など、安全確保について積極的に申し入れを行つてきました。しかし、毎回、東電側から「そんなことはあり得ない」と豪語する返事しか得られませんでした。そうした中での今回の原発事故です。私たちが申し入れ続けてきた懸念事項が「重大な人災」という現実になりました。事故後、全てを失つた被害者である私たちに対応を続けています。故郷を返してほしい、「何を信じれば…」が正直な気持ちです。



みやもと たかお
宮本 孝男 さん

(下条)



●避難先●
宮城県仙台市

件通信

私は被災まで、内装工事業「インテリア宮本」を営み、妻と父、そして職人とし働いてくれていた甥の4人で生活していました。私は浪江町内の現場で大地震に遭遇しました。揺れは大きく長かつたものの、停電は無く、現場とその周辺の家屋に大きな被害は見られませんでした。揺れの割には大した被害ではないかなと思っていましたが、大津波警報が発表されるなどしたため、作業を切り上げ、自宅を目指しました。現場のある地区を離れて間もなく、道路や家屋の損壊が急に目立つようになり、迂回を繰り返しながら、ようやく帰宅できました。幸い、家族にケガはなく、相馬方面の現場に出ていた甥も深夜までに無事戻ってきました。その夜は、毛布に包まり、石油ストーブや車のエアコンで暖を取りながら夜を明かしました。

翌朝、何を報じているのかわかりませんでしたが、広報車が頻繁に回っているため、心配になり役場に向かうと、避難指示が出され、川俣町が避難先として指定されたことを知らされました。早速、自宅に戻り、妻や父とともに自宅を出ました。当初、川俣町方面を目指しましたが、渋滞で進めなかつたため、南相馬市原町区に住む叔母のもとを目指しました。叔母宅に数日お世話をなりましたが、第一原発3号機の爆発以降、原町でも屋内退避が出され、避難者が相次ぎま

した。また、妻の友人から原町を離れることを強く勧められたため、仙台市内の子どもたちが生活しているところに向かいました。仙台市に移った当初、同市も地震・津波の影響で都市機能がマヒしており、買い物にも苦労しましたが、同じ被災地でありながら、私たち原発事故による避難者に対して、行政をはじめ、多くの皆さんが多く支援をしてくださいました。そんな中、仙台市などが開催する原発事故避難者向けの交流会に参加し、同じように当町から避難している人が少なくないことを知り、避難者自治会「双萩会（そうしうかい）」の立ち上げに、有志の皆さんと共に参加しました。この7月現在で、会員数は52人28世帯、おおむね、月に1回程度、茶話会などを開催し、気軽に近況を話し合うなど、生活再建などについての情報交換を行っています。

あの日から3年4ヶ月が経ちます。友人や知人、お客様をはじめ仕事でおつきあいをいただいた皆さん、地域の方々との交流が難しくなったことが、辛く悲しいことであります。夫婦にとつても、高齢の父にとつても、故郷は愛おしい存在です。そんな中ではありますか、2人の子どもと仕事を共にした甥たちが、自立して人生を歩んでくれていることが、これから余生を過ごす上で大きな励みになっています。

いずみだ よしこ 泉田 祥子 さん

(両竹)



●避難先●
東京都杉並区



私の自宅がある両竹地区は、海岸と川の河口に面していますが、同地区で暮らした約50年以上の間、水害に見舞われても、自宅内に水が入ることはありませんでした。それが、あの大地震の後、大津波で一瞬のうちに瓦礫と化してしまうとは夢にも思っていませんでした。近所の皆さんには地区内の高台に避難しましたが、高齢の私たち夫婦は、自宅2階に上がるのがやっとでした。津波により1階部分は浸水し、浮き上がり倒れた家具が折り重なるような状態になり、津波が引いた後も身動きが取れませんでした。津波襲来の直前、アメリカ在住の長女から電話がありました。が、浸水直後に切れてしましました。しばらくして、消防団の方々によつて救出され、せんだんで一夜を過ごしました。

翌朝、避難指示が出されました。しかし、車が津波で浸水したため、移動手段がありませんでしたが、当行政区の齊藤区長夫妻の車に同乗させていただき町を離れました。さらに川俣町では、千葉県に住むご子息が迎えに来るという近所の方のご厚意により、関東方面にご一緒させていただき、東京都内に住む長男と連絡をとり、無事、東京都杉並区内の親類宅にたどり着くことができました。長男らと再会してから分かつたことですが、長女は電話が切れたために、最悪の事態を想像してしまったようで、電話が切れた直後、長男にその旨を連絡し、私たちの今後について相

談したということでした。

私は、長年、絵を描くことを趣味としてきました。避難後、仲間の勧めもあり、再び道具を揃えましたが、なかなか筆を持つ気になれません。そんな中、見慣れた風景が頭に浮かびました。近所にあつた齊藤区長さんの梅園の様子です。白梅の中にたたずむ1本の紅梅。まさに「紅一点」の愛おしい姿です。帰ることができない分、その気持ちを絵に託すことにして筆をとりました。それを機に、ふるさとの姿を書き留めることを通して、少しでも前向きな時間を進もうと思うようになりました。

故郷を離れて3年目が近づいたころ、被災前から参加している絵画団体「旺玄会」が第80回の記念展を行うことになり、出展要項などが届きました。そこで、その梅園を描いた絵に「ふる里早春」という題を付けて出品したところ、入選作に選ばれました。

避難先で絵を描き始めてからは、思い出などが中心となっていますが、これからは、現在の住まいがある街の姿、子どもたちの戯れる姿など、震災復興を託す将来世代に向けて、夢や希望を書き記していきたいと思います。

※写真にある絵画が入選作「ふる里早春」



ながい りか
永井 里佳 さん

(長塚一)



●避難先●
埼玉県所沢市
件通信

平成24年12月、被災後、初めての一時帰宅に参加しました。警戒区域（当時）に入る際、検問を受けましたが、何の非もない私たちが、帰宅するため、許可や検問を受けなくてはならないのか、理解に苦しみました。自宅が近づくにつれ、被災当時の壊れ、時間の経過とともに、朽ち進んでいついる町並みに、これが見慣れていたはずの故郷なのかと、驚きだけでなく、違和感のようなものすら覚えるほどでした。

2年ぶりの我が家は、地震で傾き、内部は家財が散乱して足の踏み場もありませんでしたが、ゆっくりかき分けながら、自分の部屋を目指しました。普通ならば、玄関から十数秒で駆け上がる程ですが、この時ばかりは一歩ずつ踏みしめるようでした。「もしかすると、（帰宅は）これで最後になるかもしれない」そんなことも頭をよぎる中、小学校の卒業アルバムや友人と交わした手紙など、大切な思い出を二つずつ探し出しました。

私は幼いころから、何かスポーツをやってみたいと思つっていました。小学3年生の時、スポーツ少年団の広報紙で、ソフトテニスチームが発足する記事を見て、母の勧めもあり、挑戦することにしました。始めた当初は、大会で大きく勝ち進むようなことはありませんでしたが、徐々に白星を挙げるようになり、小学5年生の冬には全国大会まで進むことができました。その後、指導者にも恵まれ、中

学生になつてからは、福島県選抜メンバーに選ばれたり、ミズノカップで優勝したり、全国中学生大会ではベスト16入りするなどの成績を残せるようになりました。震災まで、私は高校卒業後は就職し実業団チームに進むことを考えていました。しかし、被災、特に原発事故という未曾有の事態に直面する中、世の中をより広く学びたいと、いう気持ちになり、昨年、早稲田大学スポーツ科学部に入学し、ソフトテニス部に所属しています。

今年で大学2年生になりましたが、高校の時は違い、様々な大会を勝ち抜いてきた学生が全国から集まっています。そのため、レギュラー争いが激しく、気を抜くとすぐに外されてしまい、まるで戦国時代状態です。また、年々、高校生のレベルが向上していることもあります。モンスター新入生の登場も珍しくありません。このように状況の変化は激しくても、自分の実力が一朝一夕で変わるものではないので、手を抜かず、気持ちを据えて、自分のプレーを進めることに注力していきたいと思います。

来年春、私の学年は成人式を迎えます。避難で各地にバラバラになつてしまつたこともあり、中学校卒業以来、一度も会つていなない同級生もいます。故郷を離れた今まで成人することになりますが、久々の再会をとても楽しみにしています。

双葉理容

おおいがわ しげみつ
大井川 繁光 さん

(新山)



●避難先●
埼玉県加須市



私たち一家は、私たち夫婦と長男夫婦の計4人で理容店「双葉理容」を営んでいました。被災時、アイロンパーマを施術中のお客様が1人おりました。幸い、けがはありませんでした。ですが、すでに、コームを巻き、パーマ液を塗布した後でした。しかし、停電や断水のため、その先はどうすることもできないまま、お帰りいただくなされませんでした。

翌日、避難指示を受けて町を離れましたが、町と行動を共にし、川俣町、さいたまスーザーパークリニックを経て、旧騎西高校での避難所生活となりました。衛生状態も悪くプライバシーも確保できない環境の中で店を失ったという失望感の中、不安とストレスの重圧に押しつぶされそうな日々。私を含め家族全員が体調を崩すようになり、孫たちは学校生活もうまくいかないこともありました。

あの極限に近い状態ではありましたが、せめて、髪でもサッパリして、気分転換に繋がればと思、ボランティアで散髪を始めました。「人間らしい生活に戻れるような気がする」と多くの皆さんから喜ばれました。同時に、少しでも皆さんのお役に立てているのかと、私たち一家が皆さんから元気をいただきることができました。しかし、それから間もなく、保健所からの指導により、中止せざるを得なくなってしまいました。納得しがたい状況に悔しい思いでおりましたが、被災者支援を行っているNPO法人から、理容所の運

當について話をいただき、この法人に雇用されるかたちで再開できました。また、この6月からは、店舗の貸与に変わり、従来の屋号で開店しております。

こちらでは、短時間・低料金の理容店が大きなシェアを占めていますが、私たちは、双葉で行ってきたやり方を崩していません。顔そりやマッサージなど、そうした新業態店舗が敬遠するサービスを誠心誠意行っております。故郷の言葉でいう「までい」なやり方です。お陰様で、その「までい」がこの地域の方々にも少しずつ受け入れられるようになりました。どのような状況にあっても、ごまかしをしない精神を貫くつもりです。

現在、一番上の孫（長男夫婦の長男）がいわき市内にある理容専門学校に通学しています。子どもの時から、家業を継ぎたいという意思はありました。震災後、仕事と生活の基盤を失い、孫に託すのもどうかと迷つたこともあります。しかし、こうした孫の進路が私たちにとっても大きな後押しになりました。

3年前、さいたまスーザーパークリニックにいたころまでは、故郷に戻れるかもしれないという希望がありました。しかし、故郷・双葉のアイデンティティを失うことなく、この土地で必ず成功するという覚悟で、この春、加須市内に新しい店舗兼住居の建設を始めました。

ぼくの夢・わたしの夢



いしい ののか 東京都府中市立府中第六小学校6年 石井乃々花さん(長塚一)

私の夢は、幼稚園の先生になることです。

幼稚園の先生になりたいと思い始めたのは、幼稚園の年長のころでした。担任の先生にいろいろとお世話になり、自分もこんなふうになりたいと思ったのがきっかけでした。それからずっと、幼稚園の先生になるのを夢みています。

私の理想の幼稚園の先生は、子どもたちに好かれ、一緒にいることを楽しい人です。そして何よりも、いつも笑顔でいる先生になりたいです。笑顔でいると、周りの人も幸せになると思うからです。そんな先生になるためにも、いつも笑顔で、明るく楽しく、何事もあきらめないで、がんばりたいと思います。

今月のベストスマイル

—編集後記—

いよいよ夏本番の8月を迎えるました。

今月号の表紙は、ふたば幼稚園年長の大高欣士くんと野村花音ちゃんです。欣士くんの短冊には、「サッカーと選手になりますように」、花音ちゃんは「美容師になりますように」と願い事が書かれていました。

7月2日にはサッカー日本代表・ゴールキーパーの川島永嗣選手が双葉町小・中学校仮校舎を訪れ、子どもたちと交流しました。川島選手は子どもたちに、自分の体験談から夢を持つことの大切さを話され、「どんなことがあっても夢を持ち続け、諦めないでほしい」とメッセージを贈りました。現役のアスリートからの力強いメッセージは子どもたちの心に響いたことと思います。

8月には各地で盆踊りが開催されます。盆踊りの太鼓の音を聞くと懐かしい双葉町の風景が蘇ります。



仙台市に避難している横山成葉ちゃん(6歳)と柚葉ちゃん(2歳)の仲良し姉妹の笑顔です。(長塚二)

連絡先

○いわき事務所

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213

✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所

〒963-8024 福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090

FAX 024-933-5120

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所

〒347-0105 県埼玉市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階

☎ 0480-53-7780

FAX 0480-53-7266

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ

<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式フェイスブックページ

つなげよう つながろう ふたばのわ

<http://facebook.com/fukushima.futaba>

